

「福祉体験学習」メニュー表

*No.1~12 無料

No.	講座名	内容	時間	指導者
1	高齢者って？ (高齢者疑似体験)	疑似体験装具(特殊眼鏡、手足の重りなど)を装着して、日常生活を疑似的に体験し高齢者を理解する。 ※低学年では装具が付けにくい	2	社協職員 福祉学習サポーター
2	障がいて？ (アイマスク体験)	目の見えないを感じ視覚障がい者との接し方を学ぶ。また、バリアフリーやユニバーサルデザインを知る。	2	社協職員 福祉学習サポーター
3	障がいて？ (車いす体験)	車いすの簡単な使い方や、乗った時の感じ方、介助する時の心構えなどを考える。また、バリアフリーやユニバーサルデザインを知る。	2	社協職員 福祉学習サポーター
4	ボランティアって？	ボランティアとは？どんな活動ができる？を学ぶ。	1	社協職員
5	災害ボランティア講座	災害ボランティアとは？ 全国で数十か所、災害発生時にボランティアセンターが立ち上がっている。自分たちの地域で災害が発生した時にできることを考える。	2	社協職員
6	災害ゴミの行方	平成25年7月28日萩市東部地域で豪雨被害があった時の被災ゴミ(6300t)はどうなったのか？そのゴミはただのゴミだろうか。	1~2	社協職員
7	ふくして？	「ふくし」とは何か？社会福祉協議会って？	1	社協職員
8	赤い羽根共同募金	赤い羽根共同募金って？何のために集めて、どんなことに使っているのかを学ぶ。	1	社協職員
9	認知症って？	認知症(キッズ)サポーター養成講座。 認知症の特徴や対応方法を学ぶ。	2	包括支援センター キャラバンメイト
10	手話体験	ボランティア団体等の出前講座。 簡単な手話講座や手話歌など。	1~2	ボランティア団体
11	点字体験	ボランティア団体等の出前講座。 点字とは？点字を使って名刺をつくるなど。	1	ボランティア
12	音訳体験	ボランティア団体等の出前講座。 視覚障害者のために文字を音声に訳す「音訳」を学ぶ。	1~2	ボランティア団体
当事者講話・交流(謝礼・交通費等が必要:別紙参照)				
1	視覚障がいて？	日常生活や工夫された物を紹介。また、みなさんに知って欲しいことや、点字のこと。	1~2	当事者
2	聴覚障害って？	日常生活や工夫された物を紹介。また、みなさんに知って欲しいことや、手話のこと。	1~2	当事者
3	身体障がいて？	日常生活や工夫された物を紹介。また、みなさんに知って欲しいことや、車いす生活のこと。	1~2	当事者
4	障がい者スポーツ	障がい者スポーツ(フライングディスク・知的障害・ボッチャ・ふうせんバレーなど)を学ぶ。	1~2	団体
5	盲導犬	盲導犬訓練センターによる出前講座や当事者講話。	1~2	団体・当事者
6	その他福祉に関する講話	障がい者アスリートや芸術に関する講話など。応相談。	1~2	個人・団体等



~未来を担う子どもたちのために~



「福祉教育サポート」事業

萩市社会福祉協議会では、学校や地域で子どもたちが行う「福祉学習」のお手伝いをします！萩市の未来を担う子どもたちが、人と関わる力を身につける場のひとつとして地域があります。その地域には様々な年齢の人や考え方、ハンディを持つ人が生活しています。

子どもたちが地域に目を向け、地域に出て様々な人と関わるなかで、自分は地域住民のひとりだということに気づきます。それらの体験が人間として成長の糧となり、思いやりの心や助け合いの心、ふるさとを思う気持ちなどを学習します。



「ふくし」の学習をお手伝い！

1学校1事業最高 3万円を助成します！

高齢者・障がい者・災害・ボランティアなど、様々な出前講座を実施しています。ご相談に応じて、福祉に関する授業の組み立ても一緒に考え、費用がかかる授業については、助成金を活用して実施していただけます。

《福祉教育サポート事業について》

*助成対象経費

- ・福祉に関する講演会などの講師謝礼、交通費
- ・当事者講話や交流(謝礼・交通費)
- ・地域の訪問(施設訪問準備費用やバスの借り上げなど)
- ・地域活動(ボランティアなど)
- ・災害ボランティア活動
- ・その他福祉教育に関する活動

《3年度活用校》

小学校…7校
中学校…1校
高校…1校
計 9校

《4年度活用校》

小学校…3校
中学校…1校
高校…1校
計 5校



これまでもたくさんの子どもたちの学習に活用いただきました。活用例も掲載していますので、是非ご覧ください！
今年度もいろんな学校へ行けることを楽しみにしています♪

社会福祉法人 萩市社会福祉協議会

令和4年度 福祉体験学習・福祉教育サポート事業活用事例

椿東小学校 総合的な学習「ふるさと椿東 笑顔いっぱい大作戦」

《目的》

障がいのある方のお話を聞いたり体験活動をしたりすることを通して、相手のことを理解し、大切にすることを育てる。また、いろいろな方とよりよく関わっていくために、これから自分たちでできることを考え、実施していこうとする児童を育てる。

《出前講座》

アイマスク体験、車いす体験、聴覚障がい者講話（手話体験）、高齢者疑似体験

様々な体験から高齢者や障がい者について学び、自分たちにできることを考えました。



講師謝金・交通費	4,000 円
手話通訳費	8,472 円
発表用材料費	2,728 円
合計	15,200 円

福祉教育サポート事業を活用して、体験授業を充実させました。

川上小学校 「川上愛子ちゃん ハートフル事業」

《目的》

川上地域の方等とのふれあいを通して、バリアフリーの視点から自分たちの生活を見直し、地域に役立つ児童を育成する。

★地域開放の空間づくり★

コロナ禍で地域の方が学校へ行く機会が激減したことをきっかけに「川上アート学級」「カムカム川上小」を開設。案内板の設置や地域へ広報活動を実施した。地域の方が来校するきっかけや地域の方の作品を見てもらう機会となっている。



福祉教育サポート事業を活用して、地域の方との交流の場づくりをすることができました。



缶バッジも作成

案内板作成材料費	13,935 円
地域交流材料費	13,065 円
講師謝金	3,000 円
合計	30,000 円

発展授業の例

◇高齢者学習編

1～2時間目	3時間目	4～5時間目
出前講座「高齢者疑似体験」 高齢者のきもちを考えよう	施設（サロン）訪問準備 名札づくり、 レクリエーションの準備など	施設（サロン）訪問 地域の高齢者施設やサロンへ訪問し、交流する

◇障がい者編

1～2時間目	3～4時間目	5時間目	6～7時間目
出前講座「車いす体験」 乗る・押す、気持ちを考えよう	身体障がい者講話 社会の中での暮らしや仕事・趣味活動について聞く	事前準備 名札づくり、レクリエーションの準備 など	施設訪問 障がい者施設へ訪問し、交流しよう

◇ボランティア編

1 時間目	2 時間目	4～5 時間目
出前講座 「ボランティアって？」	出前講座 「災害ボランティア活動とは？」	災害時、自分たちにできることを考える 7.28 災害ゴミの行方

福祉体験学習実施までの流れ

①授業の内容、日付を決め、電話またはFAXにて社協へ依頼
(講師派遣依頼書を使用)



②内容や日付などを確認後、学校へ打ち合わせに伺います



③福祉体験学習を実施します



出前講座にない福祉に関する授業の依頼や福祉教育サポート事業についての詳しい内容は、お近くの社会福祉協議会へお問合せください。どんな内容でもお気軽にご相談ください！

～ 問合せ先 ～

萩市社会福祉協議会本所	☎0838-22-2289	fax0838-22-2026
田万川事務所	08387-2-0277	須佐事務所 08387-6-2204
むつみ事務所	08388-6-0237	福栄事務所 0838-52-0338
川上事務所	0838-54-2645	旭事務所 0838-56-0856